



1月給食だより

令和3年度 1月号
佐賀市立川上小学校



明けましておめでとうございます。早いもので今年度最後の3学期が始まりました。

本格的な寒さはこれからですが、部屋の換気や手洗いをしっかり行い、給食でもこれまでもお黙食を続けて感染症の予防に努めましょう。

学校給食においても、より一層、衛生面に細心の注意を払い、安全でおいしい給食

を提供できるように取り組んでいきたいと思ひます。本年もよろしくお願ひいたします。



1/24~1/30 「全国学校給食週間」 学校給食の昔と今

日本の学校給食の始まりは、明治22年までさかのぼります。山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）

にある大督寺というお寺に開校された私立忠愛小学校で、貧しくてお弁当を持ってこれない

子どもたちのために、食事を提供したのが始まりとされています。その後、全国各地へと学校給食

が広がっていきましたが、戦争の影響で中断されてしまいました。

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態を改善するために、アメリカのLARA（アジア救援公認団

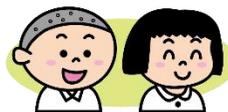
体）からの援助物資で学校給食が再開されることになりました。そして、昭和24年12月24日

に給食用物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」とすることが定められました。

昭和25年度からは冬休みと重ならない1月24日～30日の1週間を「全国学校給食週間」と

し、学校給食の意義や役割について理解や関心を高めることなどを目的に、毎年、全国でさまざま

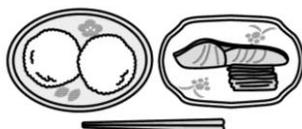
な行事が行われます。



昔の給食を見てみよう！



明治22年ごろ



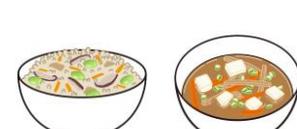
おにぎり・
やぎざかな・
つけもの



始まりの給食

は、おにぎりにやぎざかな、そして漬物だけの献立でしたが、家が貧しく食べるものがない子どもたちにとって、給食が命をつなぐ大切なものだったのです。

大正2年ごろ

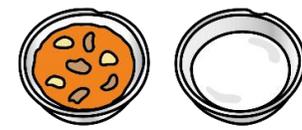


ごしよくごはん
・えいようみそしる

学校給食は、全国各地

に広まり、献立の種類も増えました。しかし日本が他の国との戦争に参加するようになると、食べるものが減り、やがて学校給食も中止になりました。平和はなく、人々は生きるだけでせいっぱいのたいへんな時代でした。

昭和22年ごろ

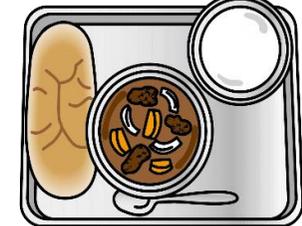


トマトシチュー・ミルク



LARA 物資の脱脂粉乳や缶詰を使って、給食が作られました。ミルクは、牛乳から脂肪分を取り除いて乾燥させた「脱脂粉乳」をお湯で溶いたもので、独特な風味で苦手な子どもが多かったようです。

昭和25年ごろ



コッペパン・ミルク・カレーシチュー

アメリカから寄贈された小麦粉を使い、パン・ミルク・おかずの「完全給食」が始まりました。おかずには、当時は安価だったクジラの肉やちくわがよく使われていました。大きなパンはぞうりのようなので、「ぞうりパン」とよばれていました。

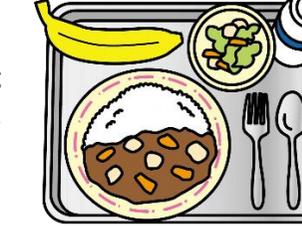
昭和40年ごろ



ソフトめん五目あんかけ・牛乳・甘酢あえ・みかん

パン以外の主食として、昭和38年ごろからソフトめん（ソフトスパゲッティ式めん）が導入されました。牛乳は、昭和33年から一部地域で供給され、昭和39年に本格的な供給がはじまりました。

昭和51年ごろ



カレーライス・牛乳・サラダ・バナナ

昭和51年に米飯（ご飯）が正式に導入されました。それまで主食のパンにおかずは煮物という組み合わせから、米飯に合う和食のおかずやカレーライスなど、献立の幅も広がりました。

今の給食は？



ご飯を中心とした和食の献立を基本に、郷土料理や行事食を提供しています。また、世界の多様な食文化への理解を深めることを目的とし、さまざまな国の料理も取り入れています。そして、食事の提供だけではなく、栄養バランスや地域の食文化、食べ物への感謝の気持ちなど、さまざまなことを学ぶための「生きた教材」として活用するなど、「食育」の役割も担っています。



リクエスト給食 ランキング発表！

各学年1位

- 1年生＝リっちゃんサラダ・みそラーメン
- 2年生＝ココアあげパン・フルーツ
- 3年生＝カレー・ゼリー・きらきらフルーツ
- 4年生＝カレー・ムース・なっとう
- 5年生＝ココアあげパン・ラーメン
- 6年生＝ココアあげパン・パン

11月におこったリクエスト給食の結果を発表します。上位にはカレーとココアあげパン、ラーメンがランクインしていました。他にはフルーツやゼリー、ムースなどデザートが人気でした。リクエストにあった献立は、3学期に登場する予定です。お楽しみに！（給食委員会が集計をおこないました。）